

2017年世界情報社会・電気通信日の 特別記念局8J1ITU運用レポート

日本ITU協会 アマチュア無線クラブ 会長 **きのした しげひろ**
木下 重博



1. 8J1ITUについて

今年も「世界情報化社会・電気通信日」をPRする特別な呼び出し符号“8J1ITU”で免許を受けた「日本ITU友の会アマチュア無線クラブ」は2017年5月1日に開局し、5月31日に閉局するまでの1か月間、全世界のアマチュア無線局11,948局と交信しました。特別局の運用は「日本ITU友の会アマチュア無線クラブ」が行いました。クラブは「旧日本ITU協会アマチュア無線クラブ」の運用を引き継ぎ、名称を変更したクラブです。現在会員数は海外在住の2名を含む86名で運営されています。

クラブの事務局は千葉県流山市にあり、無線局は茨城県かすみがうら市にあります。

クラブはJO1ZZAの呼び出し符号を持ち、かすみがうら市の移動しない無線局と日本全国に移動できる無線局の2つの免許を持ち、5月1日から31日に限り、呼び出し符号の変更を申請し8J1ITUのコールサインでかすみがうら市の1kWの移動しない局と50Wの移動する局による2局の運用をする事ができます。

かすみがうら市の無線局はエレクトロデザイン株式会社の所有するアンテナの実験場の設備を借りて運用しています。ここには様々なアマチュア無線のバンドで運用できるように4本のタワーに1.8MHzから430MHzまでのアンテナと多数の無線機を設備し、最大6台の無線機を使って同時運用できます。夜のヨーロッパ方面の通信に備えて宿泊施設

もあり、5月の毎週末にオペレータを交代しながら24時間の連続運用を行います。

2. 無線局の整備

開局の1週間前の4月23日にクラブ員が集まり、無線局周辺の草刈りとアンテナの整備を行いました。無線局の敷地は駐車場、宿舎、接続の道路などを含む2000m²ほどあります。多くのクラブ員の協力により草刈りが完了しました。

アンテナの整備も7MHzの八木アンテナを搭載しているタワーのアンテナを回すモータの不具合があり、モータの交換作業を行いました。そのほか1.8MHzのアンテナの整備、50MHzのアンテナの整備なども行い開局に備えました。

3. 8J1ITUの開局

8J1ITUの開局日5月1日は月曜の平日でしたがクラブ員の学生2名と4月30日の夜から00:00JSTの開局時間まで無線室で待機し2017年の開局を待ちました。夜になってヨーロッパの信号も聞こえ出したので今年もと大いに期待したのですが、いざ開局の時間になるとコンディションが悪化し、ヨーロッパの信号が全く受信できなくなってしまいました。期待した初日の海外交信は空振りとなりました。翌朝シアトルから参加したWB6Z古谷さんなども加えて合計6名で同時運用を行いましたが、頼みの国内交信も海外と同様コンディションが悪く、初日の運用結果は621局で昨



■写真1. 8J1ITU無線局の全景



■写真2. 運用風景



年の初日の交信数1,527局の半分以下でした。このペースで運用している1万局交信の目標はとうてい無理ではないかと思われた開局初日でした。

連休中及び週末は沢山のクラブ員が集まり例年のように交信の数を重ねて行きます。また昼時には一休みして屋外



■写真3. バーベキューの風景



■写真4. 参加者の集合写真



■写真5. アンテナと霞ヶ浦

で恒例のバーベキューを楽しみます。

運用するオペレータ以外にも子供づれの参加者が筈ほりをするなど、楽しい行事も併せて行っています。かつて運用に付き合ったクラブ員の子供さんが、今では大学生になり、クラブのメンバーとして大いに活躍していただいています。霞ヶ浦の無線局の運用は、無線通信の実地教育の場にもなっていて、ここから若い無線家が育っています。

4. 霞ヶ浦の1kW局の運用

初日から悪いコンディションだったためにCWの交信が増え、海外の交信が減った分は国内交信でカバーしています。終わってみれば、霞ヶ浦の交信数は合計9,041局で昨年並みの交信数を達成しています。今年は、世界中にあるWebにオンラインで接続されているSDR受信機を使って相手の地域の伝搬状況やバンドの空き具合を探するなど、さらに積極的にWebを活用しました。8J1TUの信号をスウェーデンで受信し、音声をインターネットを経由して、日本で音声の聴取に成功し、安心して交信をする事ができました。最終の週では、世界規模のCWのコンテスト「WPXコンテスト」に参加し、昨年を上回る1,826局の交信数を達成しました。2016年の「WPXコンテスト」ではMULTI-MULTI部門で世界10位の成績でした。今年はさらに上位に入る事を期待しています。

5. 移動運用

移動する局は、河津町、日立太田市、我孫子市、石岡市、土浦市、さいたま市、つくば市、吉川市、松戸市、江東区、板橋区、小笠原村、海上移動と多彩な運用を行い、2,904局と交信しました。昨年に比較して、移動運用の交信数が減少した分が今年の交信数の減少となっています。

6. おわりに

2017年の8J1TU記念局の運用は、過去最悪とも思われる電波伝搬のコンディションの中での運用でした。開局初日の状況では1万局交信は夢かとさえ思われたのですが、CQ連呼の忍耐を重ねた結果、1万局越えの交信目標を達成する事ができました。この成果は1か月の限定された期間で運用する記念局としては、他に例がないと思います。「世界情報社会・電気通信日」を国内外に広くPRする活動に参加し成果を上げる事ができたのは、ひとえに日本ITU協会の皆様のお力添えと、日本ITU友の会アマチュア無線クラブの会員の努力の賜物と皆様に感謝したいと思います。